

よしかわ通信



りん どう
凛道



発行
高萩市議会議員
よしかわ どう りゅう
吉川道隆
高萩市安良川686
TEL 0293-24-0833
FAX 0293-22-3340
ホームページ <http://www.douryu.net>
E-mail info@douryu.net

余寒なお厳しき折、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

震災により、様々な影響を受けた高萩市の2011年でしたが、無事に新年となりました。「絆」の字で表されているとおり、家族の絆、社会の絆がこれほどまでに見直されたことはなかったかもしれません。

昨年11月30日臨時議会におきまして、議長に就任させて頂くことになりました。これからの高萩市の復興に大切な今、この時期にお役目を頂いた責任を深く感じながら、私なりに精いっぱい尽くしてまいりたいと思っております。12月に震災復興等対策特別委員会と議会改革等調査特別委員会の2つの委員会を立ち上げました。定例議会以外のときでも議論をすることができます。

震災のこの苦難を乗り越えるには、市民の皆様のお一人おひとりのご理解・ご協力が非常に大切となります。今後ともご指導、ご意見よろしくお願い申し上げます。

震災復興等対策特別委員会 1月13日

昨年立ち上げられた、特別委員会の調査報告書に対する対応状況

農業・商業・観光の振興について

① 「活性化を図る施策の実施」

プレミアム商品券等について使い勝手に工夫することとされており、実施状況としては次のとおりであった。

発行数	3,000セット	1セット当たりの販売額	10,000円	プレミアム	1,000円
1セットの内訳	商工会員券 6,000円 / 共通券 5,000円				
発売期間	1月12日～12月9日(完売) / 有効期限 24年1月31日				
取扱店舗	商工会員 180店 / 非会員 5店 合計 185店				
換金状況	20,358,500円(1/6現在)				

② 「風評被害等に係る高萩市の詳細な情報の発信」

観光についてこれから大切な時期となるので、風評被害の対策対応をすることとされていた。

- ・ 県外観光キャンペーンとして、ゆるキャラサミット等、昨年6回参加して、高萩市のPRを行った。

- ・ 市内イベントとして、毎月1度のうまるしえや花貫溪谷の紅葉、復興支援映画上映会など、7事業が行われた。

観光以外の対応

1) 米安全シール

県は県内 44 自治体でコメの放射性物質調査を実施した。このうち高萩市内 3 地点（安良川、上手綱、上君田）で収穫された玄米の調査を実施した結果、3 か所とも不検出だった。そこで、市内の稲作農家の希望者に対し、高萩市が独自に作成した「米安全シール」を9月26日より交付している。



交付枚数 12,716 枚 (1月11日現在)

2) 野菜等検査済シール

10月21日から市内産の野菜や井戸水等の放射線個別調査を環境衛生課が実施中。数値が基準値以下であった場合、農林課において高萩市が独自に作成した「検査済みシール」を希望者に交付することとした。



交付枚数 1,550 枚

3) イノシシ駆除へ補助金

県が実施したイノシシ肉のサンプリング調査の結果、生息する 16 自治体のうち 4 自治体で基準値（1kg あたり 500 ベクレル）を超過したため、9月20日イノシシ肉を食用とすることを控えるよう県から通知された。12月2日には、国の指示による出荷制限が出された。

ハンターが狩猟を控える動きが生じ、農作物の被害拡大が心配されたため、その対策として、解体費用や焼却施設への運搬費用を助成する制度を開始した。

補助額

- 5kg 以上 60kg 未満 …10,000 円
- 60kg 以上 …15,000 円

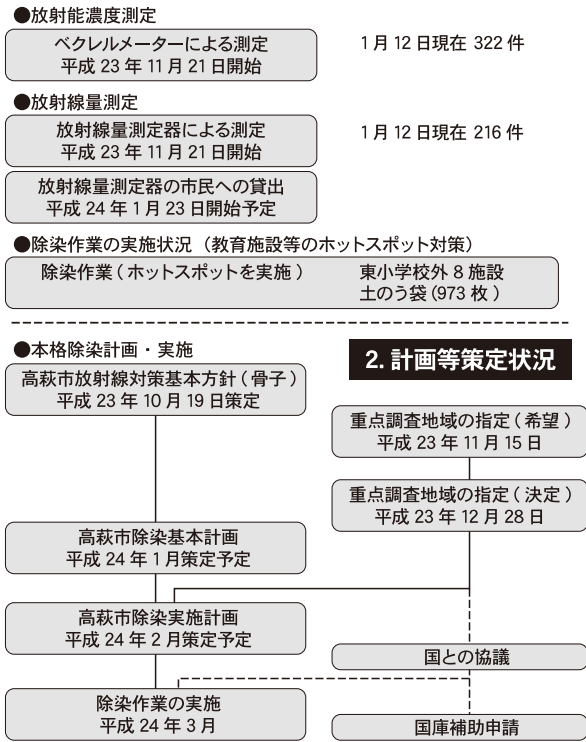
放射線の対応状況について

平成 24 年 1 月 1 日に放射性物質汚染対処特別措置法が全面施行され、東京電力原発事故に伴う除染作業が本格化する。高萩市も国の費用負担で除染を行う「汚染状況重点調査地域」の指定を受け、除染実施計画の策定に着手しなければならないところである。市民レベルでの放射線に関する相談業務や放射線測定の依頼等に対応するため、1月20日市民生活部内に放射線対策室を設置した。

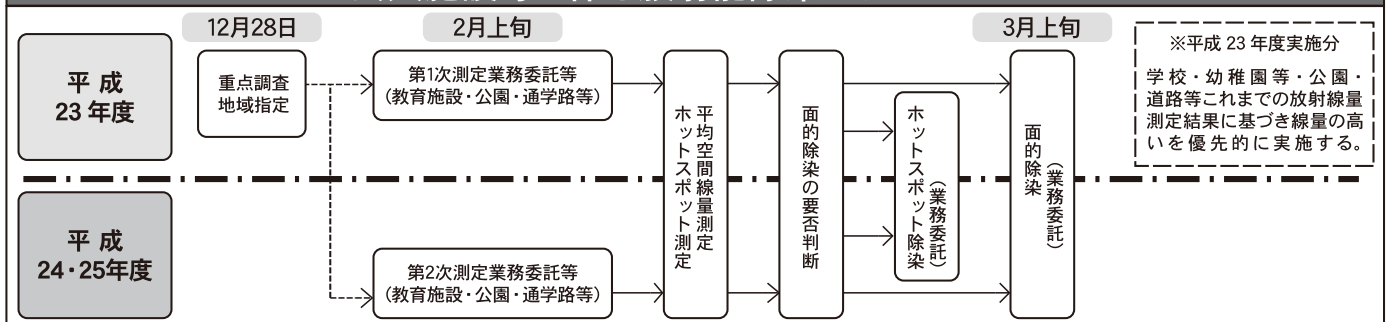
所掌事務

- (1) 放射線・放射能測定の依頼業務
- (2) 放射線測定器の貸出業務
- (3) 放射線に関する相談業務
- (4) その他放射線に関する業務

放射性物質汚染対策



・公共施設等に係る放射能除染スケジュール



地域防災計画について

平成 18 年度作成の地域防災計画の全面的な見直しを㈱オリエンタルコンサルティング(東京)に委託して行う。市民向けの概要版も作る予定である。

市庁舎について

まずは、プレハブ仮庁舎を工期 平成 24 年 3/3 ~ 8/31 で建設工事を行い、9/1 ~ 9/30 で総合福祉センター・リーベロたかはぎ復旧及び引っ越しを行う予定。(軽量鉄骨造 3 棟総床面積 約 3,200 m²) その間に、本庁舎建設の計画を決定し、平成 26 年度完成とする。

建設費

- ・国の市町村行政機能応急復旧補助金 (プレハブ)
- ・単独災害復旧事業債 (新規本庁舎建設)

市庁舎の扱いについて…

色々検討を重ねましたが、震災でかなりの損壊を受けた旧市役所は、倒壊の危険があるため、解体を余儀なくされることとなりました。そこで、上記のように、まずはプレハブ仮庁舎建設、そして、引越して、総合福祉センターとリーベロ高萩の機能を復活させます。通常なら補助対象とならない市役所の建設が、震災の影響で平成 26 年度までに建設すれば補助が出るようになったので、それに間に合うように本庁舎の建設の計画が検討されています。しかし、国の第 4 次補正予算によってその補助金額が変わるかもしれないので、それが決まるまでは決定できません。「どうせ建てるなら、プレハブなんて建てないで、直接本庁舎にしたらいんじゃないか?」と思う方もいると思います。しかし、実際に、国の動きが決まるのを待って、計画を立て、本庁舎が完成するまでにはかなりの時間がかかります。その間、ずっと、本来のリーベロたかはぎの機能、福祉センターの機能をお預けにしておくわけにはいきません。少しでも早く、機能を復活させ、本来の使用目的に戻し、市民の方々に今まで通り利用していただきたいということなのです。市民の皆様にはご理解いただきたいと思ひます。

第4回震災復興委員会 平成24年1月26日

1. 原発事故に関する対応について

執行部に求めること

- ① 除染対応について
仮置き場を早急に設置する。
- ② 健康調査
中学生以下の子供の健康調査を実施する。
- ③ 風評被害の補償について

2. 地域防災について

市内21の常設委員(字ごとの区長)を中心に、**自主防災組織**を

立ち上げ、地域の自主的な防災活動をすることによって、災害による被害を最小限に抑えることを目標としている。そのためには、地域の巡回を行ったり、避難場所等の把握をしたり、災害発生時の活動を習得するため消火、避難訓練などを行ったり、地域ごとに消火機材や備蓄品の管理を行ったりすることが必要。その資金として地域ごとに準備金が用意されており、一部支給されている地域もあるが、実際にはその施策をそれぞれが考えるのは難しい状況である。

防災について、地域、家族で考え直す機会として3月11日を「高萩市防災の日」としてはどうか?

3. 市庁舎について

色々な意見が出たが、国の第 4 次補正予算が出てから検討していただくよう私のほうからお願いしました。

吉川の考察▶

震災復興等対策特別委員会の中で、高萩市の放射能の対応状況について報告しましたが、今のところ子どもの健康調査については予定されていません。茨城県では、県市長会において守谷市長が、また、48 の市民団体が子どもの健康調査を求める要望書を提出し、さらに県議会保健福祉委員会も調査の実施を申し入れたにも関わらず、橋本知事は「必要ない」と再表明しており、残念でなりません。福島県では、全県民を対象として様々な健康調査が行われておりますし、子どもには中長期的な甲状腺がん検診を行うことになっています。岩手県では比較的空間線量の高い県南部を中心として子どもの内部被ばく状況を統計的に把握するための尿検査を行うそうです。宮城県丸森町、栃木県那須町では町独自で子どもの健康調査が行われております。

高萩市は福島県に近く、今回、汚染状況重点調査地域にも指定されており、子どもたちに対する心配の声は多く聞かれます。県が動いてくれなければ市独自で実施することもできるはずですが。守谷市の団体が求めている、子どもたちに対して超音波による甲状腺検査、未就学児・妊婦を対象に尿検査など、高萩市として独自に対応することは出来ないかと私は考えております。「萩っ子育成」を掲げるなら、その大切な萩っ子を守るのが私たちの役目ではないでしょうか!!

自主防災組織については、地域主体で進めるのが理想ですが、どうやって進めていけばいいのか、なかなか難しいと思ひます。しかし、地域ごとに初期消火、避難場所の確保をしたりすることは減災のため非常に大切なことなので、行政が関わって共に、各地域ごとに組織の立ち上げに協力すべきだと思います。

中畑清新監督就任を祝う会 平成24年1月17日 東京プリンスホテル

中畑清監督は、私の母校であります、駒澤大学の野球部出身で、同窓会等で何度か顔を合わせ、「たちあがれ日本」から参議院選挙に出馬した際、惜しくも敗れましたが、私なりに、頑張っ
て応援しておりました。そういう関係から、ご招待を頂き、祝う会に出席させていただきました。

音響機器メーカー「オンキヨー」の大腦（おおつき）直人名誉会長（70）、恩師の太田誠
元駒大監督（75）、福岡政行白鷗大教授（66）らが発起人となりスポーツ界、芸能界、政界、
財界から約1500人が詰めかけており、改めて、中畑監督の仁徳というか、偉大なお人柄を
感じます。

受付にいらっしゃった発起人の福岡政行先生は、草間市長の恩師になるそうで、私が名刺を
出したところ「教え子の草間吉夫を頼みます」と言われ、思いがけず声をかけていただいたこ
とで思わず笑ってしまいました。

一番盛り上がったのは、まだ行き先が決まっていない松井秀喜外野手（37）が、巨人・長
嶋茂雄終身名誉監督（75）とともに登場した時でした。代表発起人のオンキヨー名誉会長の
最初の挨拶で、「去年の参議院選挙で落選したからこそ、この監督就任があったのであって、
今思えば、これでよかったです」と、お話しされ、会場には笑いが起こり、中畑監督も
苦笑いをしていました。

今後は、横浜 DeNA ベイスターズを、ジャイアンツと張り合えるようなチームに育てていた
だきたいと思います。

高萩市立地企業トップセミナー 平成24年1月20日

高萩市内に工場や支社のある企業のトップの方たちの対象としたセミナーが、東京都千代田
区都市センターホテルで行われた。約40名の企業の方を含め、高萩市からの出席者、合計約
60名が参加しました。

●内 容●

- | | | | |
|------------|----------------------|----------|---------|
| 1、企業向け事業説明 | 中小企業基盤整備機構関東支部 | 産業用地課長 | 田畑 明恒 様 |
| 2、企業立地動向説明 | 茨城県産業立地推進東京本部 | 本部長 | 宮田 達夫 様 |
| 3、講演 | 「震災後の経済の行方と復興ビジョン」 | | |
| 講師 | 日本政策投資銀行 地域振興グループ参事役 | 藻谷 浩介 先生 | |

講演の中で、これからの日本の市場において、若年人口の減少、高齢化を考えると、企業戦
略をつくりこんでいかないと企業として生き残ることができない。今は、中国、韓国また東南
アジアへの輸出が伸びているかもしれないが、そういった国も近い将来、人口推移は日本と同
じようになっていくことを考えると、市場を他に求めるのではなく、今ある市場の中で、工夫
して、人々のニーズをつかめるようにしていく必要がある。ということをお話されていた。世界
中に市場を持つユニクロが、若い世代だけでなく、ヒートテック素材を使うなどして、年齢層
の高い世代をもターゲットとしていることを例に挙げていた。

今回参加した企業の事業内容は、様々であるので、一概に同じ考えでは難しいかもしれない
が、そういった、日本の現状、世界的な将来を見すえた上で戦略を考えていく広い視野が必要
だということだと思ふ。

日々、目の前の問題にばかり、とらわれがちだが、こういった先生方のお話を聞くことで、
改めて見つめなおすことが出来て、大変勉強になる。今後の活動に生かしていければと思う。